

教師特有の働き方を生むビリーフ尺度の作成

—教師のバーンアウトとの関連—

教育実践高度化専攻 児童生徒発達支援コース 生徒指導・教育相談系

氏名 福田 祝子

近年、教員の働き過ぎが問題視されている。この論文では、教師のビリーフに着目し、特に近年課題とされている教員の働き方について焦点を当て、教員特有の働き方を生むビリーフ尺度を作成することを目標とする。また、その尺度を用いてアウトカムとしての教員のバーンアウトとの関連について検討し、教員の働き方における現状と今後について考察する。

実際に働く教員への調査をもとに「教員の働き方におけるイラショナル・ビリーフ」を明らかにし、それが教師のバーンアウトとどのように関連するか検討した。その結果、教師のイラショナル・ビリーフは教師のバーンアウト傾向の抑止力となることがわかった一方で、それらが教師個人の力量のみに頼っているという課題も浮き彫りにした可能性がある。現在も増え続けている教師のバーンアウトにおいては「やりがい」や「強い使命感」を持たずとも膨大な業務量をこなさなければならない教師の労働環境が関わっていると考えられる。